

令和2年度(2020年度) ネットいじめ等早期対応推進事業の実績報告について

学校安全・安心推進課

1. 事業の目的

進展するネット社会における生徒指導上の諸問題、とりわけSNS上でのいじめ等への対策として、「通報窓口サイト」を全県立学校に導入し、ネットいじめやネットトラブルに対する学校の取組を支援する。

2. 事業概要

- (1) 対象校及び対象者数：全県立高校、全県立中学校及び任意の特別支援学校の約3万人を対象
- (2) 契約期間：令和2年(2020年)4月1日から令和3年(2021年)3月31日まで
- (3) 導入したシステム：「いじめ匿名報告サイト(スクールサイン)」(アディッシュ株式会社)
- (4) 事業の仕組み

委託事業者が通報内容を1日数回チェックし、投稿内容は翌日までに県教育委員会へ連絡。緊急対応が必要な投稿については、別途連絡が入り、関係機関と連携する。

3. 事業の結果

(1) 投稿件数

	投稿総数	内 訳 ※1				
		いじめ	悩み相談	不満	その他	いたづら
1学期分：4月から8月までの計	199 (▲89)	9 (▲12)	7 (▲9)	40 (▲57)	141 (▲8)	2 (▲3)
2学期分：9月から12月までの計	83 (▲36)	5 (▲9)	5 (▲1)	25 (▲12)	47 (▲13)	1 (▲1)
3学期分：1月から3月までの計	39 (+16)	3 (+2)	0 (0)	10 (+7)	26 (+9)	0 (▲2)
合計	321 (▲109)	17 (▲19)	12 (▲10)	75 (▲62)	214 (▲12)	3 (▲6)

※1 投稿内訳の件数は、学校が精査した結果の数値

※2 ( )は前年度比の増減《テスト送信は含まない》

(2) 投稿状況

ア いじめの17件のうち、スクールサインへの投稿によって学校が知ったいじめは7件。そのうち3件についてはいじめ行為が止んでいる。

＜投稿内容の一部＞

- ・写真を友達に送ったら拡散されていた。
- ・ハンドボール部女子の人達で1人の人をいじめられてた人がいました。
- ・その人から掃除の時間にほうきでお尻を叩かれたり、日常では、足でお尻を蹴ったり、お腹をグーで殴ったりされていました。

イ 全投稿のうち、5件の投稿については緊急対応が必要と判断した。学校及び県警察等関係機関との連携により、当該生徒の安全を確保するとともに、当該生徒の保護者と学校が面談し、必要に応じて専門機関につなげることができた。

ウ 不満の件数は、昨年度に比べ半減している。このことは、スクールサインへの投稿がよい意味での抑止力となっていると思われるが、依然として教師の指導方法や部活動の練習等についての不満が寄せられている。これらの投稿についても、生徒たちからのSOSと捉え、学校に情報提供することで、教育相談等適切な対応に繋げることができている。

#### 4 その他、参考となる事項

- (1) 教職員のわいせつ行為をはじめとする不祥事根絶に向けた取組として、スクールサインを相談窓口の一つとして周知（令和3年3月12日付 教人第1656号 教安第838号）